

くにびきジオパーク構想地域における，学校教育でのジオサイトの活用事例 Application example of geosites for school education in the region of Kunibiki Geopark Plan

辻本 彰^{1*}; 野村 律夫¹; 高須 晃¹; 入月 俊明¹; 林 広樹¹; 田坂 郁夫¹
TSUJIMOTO, Akira^{1*}; NOMURA, Ritsuo¹; TAKASU, Akira¹; IRIZUKI, Toshiaki¹; HAYASHI, Hiroki¹;
TASAKA, Ikuo¹

¹ 島根大学くにびきジオパーク・プロジェクトセンター

¹ Kunibiki Geopark Project Center, Shimane University

くにびきジオパーク構想では，島根半島，大山，三瓶山を結ぶ，“国引き神話の地”をエリアとして設定している。“国引き神話”とは，西暦733年に完成した「出雲国風土記」に記されている神話であり，朝鮮半島の土地などが引かれ，つなぎ合わされて島根半島ができたものと描写されている。くにびきジオパーク構想地域では，①大陸の時代②大陸からの分裂③日本海の形成④列島での火山活動⑤沖積平野・汽水湖の形成といった，国引き神話に通じる大地の変動を見ることができ，神話と地質学を融合させたジオパーク構想として推進している。

くにびきジオパーク構想地域では，八岐大蛇伝説やたたら製鉄とのかかわりで地域になじみの深い一級河川斐伊川や，1500～1400万年前の砂泥互層からなるタービダイト層を良く観察できる。これらのサイトはアクセスが容易であり，小学校5年生の「流水の働き」および小学校6年生の「土地のつくりと変化」の単元にそれぞれ活用することができる。一方，多様な自然を対象とした野外学習では，専門的知識の不足や地域素材の活用法に対する困難さが野外学習実施教員の問題として生じている。そこで，島根大学くにびきジオパーク・プロジェクトセンターでは，地域の教育委員会との連携のもと，地域の小学校を対象にこれらのサイトを活用した野外授業実践を行った。

斐伊川水系周辺ではたたら製鉄のためのかんな流しが古くから行われており，その痕跡をかんな流し跡や河川堆積物中の鉄滓に見ることができる。磁石が岩石に引き付けられることを示すことで，たたら製鉄のもとになる磁鉄鉱が花崗岩の中に含まれていることを実感させることができる。また，かんな流しの影響による「暴れ川」としての斐伊川は，八岐大蛇伝説を生んだ。つまり，大地の成り立ちが人の暮らしや文化に直接結びついているというジオパークの視点を与えることができるサイトとして価値が高い。

キーワード: 国引き神話, 出雲国風土記, 島根半島, 斐伊川, 流水の働き, 土地のつくりと変化

Keywords: Kunibiki myth, Izumo-no-kuni Fudoki, Shimane Peninsula, Hii River, function of running water, structure and change of land